

Cisco Unified Communications Manager のサービス拒否の脆弱性

High	アドバイザーID : cisco-sa-20100303-cucm	CVE-2010-0573
	初公開日 : 2010-03-03 16:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 8.5	
	回避策 : Yes	
	Cisco バグ ID :	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

不正利用された場合 Cisco Unified Communications Manager (以前の Cisco Unified CallManager) は複数のサービス拒否 (DoS) 脆弱性が音声 サービスの割り込みを引き起こす可能性があります含まれています。 セッション開始プロトコル (SIP) 、 Skinny Client Control Protocol (SCCP) およびコンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) マネージャ サービスはこれらの脆弱性から影響を受けます。

これらの脆弱性に対処するために、Cisco はフリーソフト アップデートをのための『Cisco』を選択します Unified Communications Manager バージョンをリリースしました。 1 つののための回避策が脆弱性あります。

このアドバイザーは [303-cucm](#) で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

以下の製品はこのアドバイザーに説明がある脆弱性から影響を受けます:

- Cisco Unified Communications Manager 4.x
- Cisco Unified Communications Manager 5.x
- Cisco Unified Communications Manager 6.x
- Cisco Unified Communications Manager 7.x

注: Cisco Unified Communications Manager バージョン 5.1 はソフトウェアメンテナンスの終

わりに 2010 年 2月 13 日達しました。Cisco Unified Communications Manager 5.x バージョンを使用している顧客向けに Cisco Unified Communications Manager のサポート対象バージョンへのアップグレードの支援に関しては Cisco サポート チームに連絡して下さい。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco Unified Communications Manager バージョン 8.0(1)および Cisco Unified Communications Manager Express はこれらの脆弱性から影響を受けません。他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2010-March-03	初版リリース
-----------	---------------	--------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。